

### 《マリア観音》

山形県東根市の龍泉寺に残された「マリア観音像」を取材して描き、人や物の移動による文化の交流と混淆を表すことを試みた。

### 《踊る世界靈魂》

「世界靈魂」とは、西洋哲学・思想において、「世界は1つの大きな生命体として生きており、靈魂を持っている」とする伝統的な概念である。《踊る世界靈魂》の連作では、西洋絵画に見られる踊る人々のモチーフを参照し、それらを世界靈魂の擬人化した姿に見立てて描いた。世界靈魂がさまざまな場所で踊っている情景を通して、遠く離れた土地や人々との結びつきや、1つの大きな運動体としての世界観を表現した。

### 《世界靈魂パレード》

「世界靈魂」とは、西洋哲学・思想において、「世界は1つの大きな生命体として生きており、靈魂を持っている」とする伝統的な概念である。本作では、山形県で取材した教会の聖母子像や、神社の本坪鈴などを組み合わせて、世界靈魂の擬人像を描いた。世界靈魂像が農業用のトラクターの上に立ち、背後に古い自動車やお囃子人形などを引き連れて練り歩く情景を描くことで、世界が1つの大きな生き物として運動する姿を表現した。

### 《蓮華パーティー》

寺院で見られる蓮華の造形物を前景に描いた。画面上半分の球体部分は、地球の自転を観測する装置である「フーコーの振り子」を描き、蓮華の造形物と組み合わせた。背景には、着飾った人々が踊ったり音楽を奏でたり語り合ったりしている様子を描き込んだ。多様な宗教や考えが存在する世界において、調和を希求する思いを祝祭的に表現した。